



Vision, Perception and Beyond

IMAGINATION

イマジネーション／視覚と知覚を超える旅

2008.12.20 sat. — 2009.2.15 sun.

主催＝東京都写真美術館／電報新聞社 ●支店＝文化庁若手クリエイター創作支援事業 ●協賛＝財団法人 花王芸術・科学財団 ●協力＝NECディスプレイソリューションズ株式会社／株式会社キタチ
科学研究所 ●協賛＝凸版印刷株式会社 ●技術支援＝有限会社カワシマ・ラボ ●協賛＝サンケイスポーツ、夕刊フジ、フジサンケイビジネスアイ、iza!、SANKI EXPRESS ●観覧料＝一般500(400)円／学生400
(30)円／中学生・85歳以上250(200)円 ※1 内は20名以上の団体料金。東京都写真美術館の会員、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上は無料 ●開館時間＝10:00～18:00
(本・金は20:00まで)入館は開館の30分前まで ※休館日1月2日(金)～4日(日)は10:00～18:00 ●休館日＝毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日は休館)、年末年始(12月29日～1月1日)

東京都写真美術館 地下1階 展示室 恵比寿ガーデンプレイス内
www.syabi.com

制作法人 花王 芸術・科学財団 NECディスプレイソリューションズ KIRUCHI



IMAGINATION

イマジネーション／視覚と知覚を超える旅

平成20年度から新たにスタートするシリーズ企画「映像をめぐる冒険」では、東京都写真美術館映像コレクションの指針となる5つのテーマを毎年ひとつずつ再考していきます。映像前史ともいえるさまざまな試みや工夫から、最新の技術を生かした現代の表現までを、収蔵作品を中心に新たな視点から紹介します。シリーズ第1回となる本年は、「イマジネーション 視覚と知覚を超える旅」と題し、人が抱くイマジネーションを視覚的に表現する技法について展示します。

第1部「視覚をめぐるメディアの冒険」では、影絵や幻燈、アナモルフォーズなどといった幻影装置の変遷と目の錯覚を利用したトリックの探究をたどり、第2部「知覚の補助装置」では、カメラ・オブスキュラ、カメラ・ルシダや連続写真などメディアの力を借りた知覚の有り様を探ります。そして、第3部「視覚と知覚を超えて」では、見えてい、あるいはわかっているつもりになっているものを乗り越えたときに、はじめて私たちの前に立ち現れてくる映像の可能性について探ります。映像前史をたどる数々の名品に加え、狩野志歩、牧野貴による新作インスタレーションのほか、宇川直宏、近藤基十、久納鏡子、渡辺水季ら、現代の作家たちの作品を織り交ぜて構成します。視覚メディアがめざましく発達しても、それを豊かな体験に結び付けるのはそれぞれのイマジネーションです。イメージが想像力を刺激し、想像力がまた新たなイメージを生み出していく。その連鎖の中に介在するメディアや表現の工夫をたどりながら、視ること、知覚すること、そしてその果てへと続く冒険の旅へみなさまを誘います。



【フロアレクチャー】

① 出品作家によるアーティスト・トーク

牧野貴 12月26日[金]15:00～／狩野志歩 1月9日[金]15:00～
宇川直宏 1月16日[金]15:00～／渡辺水季 1月30日[金]15:00～

② 担当学芸員による展示解説

1月23日[金]、2月6日[金]各15:00～

●日程・内容は予告なく変更することがあります。

●参加ご希望の方は、当日有効の展覧会チケットをお持ちの上、会場入口にお集り下さい。

【驚き盤ワークショップ】

当館スクール・プログラムで好評の教材「19世紀の映像装置「驚き盤」の体験キットを使って作るアニメーション入門。どなたにも簡単に楽しくご参加いただけます。

1月12日[月・祝]、1月18日[日]13:00～17:00 随時(受付は16:30まで)

●定員各80名(先着順)

●事前の申し込みは不要です。当日1階創作室までおこしください。



①《影絵カード》制作年不詳、19世紀 東京都写真美術館蔵 ②狩野志歩(アトリエ)2006年より 東京都写真美術館蔵[参考図版] ③《驚き盤(フェナキスタスコープ)》1832年以降 東京都写真美術館蔵 ④渡辺水季(In-between Gaze)2008年作家蔵 撮影:山崎潤也 ⑤エティエンヌ＝ジュール・マレ《無題(クロノフォトグラフィ)》1890年頃 東京都写真美術館蔵 ⑥牧野貴《タイトル未定》2008年より 作家蔵[参考図版]

会期中の関連イベント等については東京都写真美術館のホームページでご確認ください。

東京都写真美術館 www.syabi.com

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099

■JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。

■当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

